



# VMware NSX-T Data Center 2.4.1 リリース ノート

VMware NSX-T Data Center 2.4.1 | 2019 年 5 月 21 日 | ビルド 13716575

本リリース ノートの追加情報およびアップデート情報を定期的に確認してください。

## リリース ノートの概要

このリリース ノートには、次のトピックが含まれています。

- [新機能](#)
- [互換性とシステム要件](#)
- [API および CLI リソース](#)
- [改訂履歴](#)
- [解決した問題](#)
- [既知の問題](#)

## 新機能

VMware HCX で NSX-T がサポートされるようになりました。オンプレミスの NSX-T ベースの環境に仮想マシンを移行できます。NSX Data Center for vSphere から NSX-T だけでなく、NSX-T サイト間や、NSX 以外の vSphere 環境から NSX-T ベースの SDDC 環境に仮想マシンを一括で移行できます。

リリース 2.4.0 にパスワード ポリシーの拡張機能が追加され、デフォルト パスワードの最小長が 12 文字に設定されました。また、パスワードの有効期限を設定する機能が導入されました。デフォルトでは、パスワードは 90 日で有効期限が切れます。パスワードをリセットしてパスワードの有効期限を調整する手順については、ナレッジベースの記事 [KB70691](#) を参照してください。

## 互換性とシステム要件

互換性とシステム要件の詳細については、『[NSX-T Data Center インストール ガイド](#)』を参照してください。

## API および CLI リソース

NSX-T Data Center の API または CLI を自動化に使用する場合には、[code.vmware.com](#) を参照してください。

API ドキュメントは、[API Reference (API リファレンス)] タブから利用できます。CLI ドキュメントは、ドキュメント タブから利用できます。

## ドキュメントの改訂履歴

2019 年 5 月 21 日。初版。

2019 年 6 月 3 日。第 2 版。解決した問題 2339832 について記載しました。

2019 年 6 月 20 日第 3 版。既知の問題 2261818、2334442 について記載しました。

2019 年 6 月 21 日第 4 版。問題 2304571 を解決した問題に移動しました。

2019 年 8 月 23 日第 5 版。既知の問題 2362688、2395334、2392093 について記載しました。

2019 年 11 月 12 日。第 6 版。問題 2295470 を解決した問題に移動しました。

## 解決した問題

- 解決した問題 2248345：NSX-T Edge をインストールすると、マシンが空のブラック スクリーンで起動する  
HPE ProLiant DL380 Gen9 マシンでは、NSX-T Edge をインストールできません。
- 解決した問題 2264386：トランスポート ノードが NS Group に含まれている場合でも、トランスポート ノードが削除される  
トランスポート ノードが NS Group に含まれていても、このノードを削除することができます。削除は回避する必要があります。この問題が発生したら、NS Group を再作成し、トランスポート ノードとの関係を再構築する必要があります。
- 解決した問題 2275869：ESXi ホスト上のルールに 31 文字より長いタグがあると、このホスト上で cfgAgent ログのロールオーバーが 1 分以内に発生する  
頻繁にログのローリングを行うと、ホストのデバッグやトラブルシューティングに役立つ cfgAgent.log 内の情報が失われることがあります。ESXi ホストのログの場所：`/var/log/cfgAgent.log`
- 解決した問題 2288872：インストールの状態が「ノードの準備ができていません」と表示される  
Edge ノードがオンボーディングされません。トランスポート ノードの設定状態が保留のため、Edge クラスタに追加することができません。ログの場所：`/var/log/proton/nsxapi.log`
- 解決した問題 2291267：PCM により作成されたデフォルトのゲートウェイ ポリシー セクションにシーケンス番号が割り当てられず、ポリシーがデフォルトで 0 と設定される  
シーケンス番号または `insert_top` オプションを指定せずにゲートウェイ ポリシーを作成するとポリシーの競合が発生します。ログの場所：`/var/log/policy/policy.log`
- 解決した問題 2292995：すべての設定済みルールが OVS でプログラミングされているにもかかわらず、認識状態がエラーに設定される  
分散ファイアウォール (DFW) ルールがデータ プレーンでプログラミングされている場合であっても、API により誤検出される場合があります。
- 解決した問題 2292997：Linux ネットワーク スタックでの特定の論理ルーター インターフェイスの作成で失敗することがある  
Linux ネットワーク スタックでの特定の論理ルーター インターフェイスの作成で失敗し、  
「`errorCode="EDG0100002", Operation failed creating sub-interface: max sub-interface exceeded`」というエラーが返されることがあります。この結果、Tier-0 サービス ルーター (T-0 SR) により転送されるトラフィックは、ルートが見つからずにドロップすることがあります。
- 解決した問題 2295470：NSX for vSphere から NSX-T に移行した後、ファイアウォール フィルタが表示されない  
サービスが複数のファイアウォール ルールで使用されている場合、移行プロセス中にサービスの更新が頻繁に行われることがあります。このため、ファイアウォール フィルタが ESXi ホストにインストールされません。これにより、トラフィックの中断が発生する可能性があります。
- 解決した問題 2285117：NSX の管理対象仮想マシンでカーネルのアップグレードがサポートされない

一部の Linux Ubuntu マーケットプレイス イメージでは、仮想マシンの再起動時にカーネル自体が自動的にアップグレードされます。その結果、NSX Agent が想定どおりに機能しなくなります。NSX Agent が機能しているように見えても、一部のネットワーク ポリシーが認識されていないため、NSX Agent に影響が発生します。エージェントはこれらのポリシーの認識を繰り返し試行するため、CPU 使用率が増大します。

- 解決した問題 2252776：ホスト上で以前に発生した検証エラーを解決したにもかかわらず、トランスポート ノード プロファイルをクラスタ メンバー ホストの 1 台で適用できない  
トランスポート ノード プロファイル (TNP) はクラスタ上で適用されます。しかし、ホストで仮想マシンがパワーオンされていたなど、いずれかの検証がエラーであった場合、クラスタ メンバー ホストのいずれかで TNP を適用することはできません。問題を解決しても、ユーザー インターフェイス上には依然として検証が表示され、TNP はこのホストで自動的に適用されません。
- 解決した問題 228688：BGP が VTI 上で設定されている場合に、IPsec ルート ベース セッションを削除中に、BGP ネイバーを削除する必要がある  
BGP が VTI 上で設定されており、IPsec セッションを削除する場合、サービス ルーター (SR) はいずれも、停止状態となり、トラフィックをブロックします。トラフィックを再開するには、VTI に設定された BGP ネイバーを削除する必要があります。このシナリオでは、VTI 上で BGP のみが設定されます。
- 解決した問題 2288509：MTU プロパティが Tier-0/Tier-1 サービス インターフェイス（統合サービス ポート）でサポートされない  
MTU プロパティが Tier-0/Tier-1 サービス インターフェイス（統合サービス ポート）でサポートされません。
- 解決した問題 2266553：NSX アプライアンスで、サービスを初めて起動したときに初期化に失敗することがある  
展開されたノードが要求を処理できないか、クラスタを形成できません。
- 解決した問題 2267632：GI 保護の設定が失われる  
ポリシー ユーザー インターフェイスに公開したゲスト保護ルールに「成功」の文字が表示されます。ゲスト仮想マシンには、対応する動作の変更が反映されていません。同じ時点の OpsAgent ログでは、再起動したという記録があります。ゲスト仮想マシンの保護が失われています。
- 解決した問題 2288773：以前の TLS プロトコル API が依然として使用でき、上書きされる  
NSX-T では NSX TLS プロトコル バージョンおよび暗号スイートを設定する新しい API を導入しています。これにより、NSX-T クラスタのすべてのノードが更新されます。しかし、以前の API も引き続き使用可能な状態です。これは使用できますが、グローバル設定により、新しい設定が上書きされます。
- 解決した問題 2269901：パケット キャプチャ CLI に vmk インターフェイスが含まれていない  
このコマンドは実行できません。
- 解決した問題 2304571：VDR を使用して L3 トラフィックを実行すると、重大なエラー (PSOD) が発生することがある  
保留中の arp(ND) エントリが適切に保護されず、重大なエラー (PSOD) が発生する場合があります。
- 解決した問題 2275985：論理スイッチに接続されていない vNIC が、NSGroup の直接メンバーのオプションとして表示されない  
この問題は、論理スイッチに接続されていない vNIC を NSGroup の直接メンバーとして追加した際に発生します。操作は成功しますが、そのグループに対して適用されるポリシーが vNIC に適用されません。
- 解決した問題 2279973：空のグループを作成し、アップグレードを行うと、管理プレーンのアップグレード後に、空のグループが開始前と表示される  
この問題は、空のグループを作成してアップグレードを行うと発生します。
- 解決した問題 2282389：ESX をクラスタ間で移動した場合、Upgrade Coordinator のアップグレードプランが vCenter Server のクラスタ メンバーシップと同期されない

ESX を vCenter Server の 1 つのクラスタから別のクラスタへ移動した場合、この変更が Upgrade Coordinator (UC) のアップグレード プランに反映されません。これにより、ユーザーが複数のグループで「並行アップグレード」を選択した場合、複数のホストが同時にメンテナンス モードに切り替わる可能性があります。

- **解決した問題 2288921**：以前のバージョンの Edge ノードが追加されると、アップグレード状態が同期されなくなる  
Edge アップグレード後に以前のバージョンの Edge ノードを追加すると、アップグレード状態が同期されなくなります。この問題は、アップグレード呼び出しを繰り返し発生させます。
- **解決した問題 2289278**：ポリシー API でエラーが発生するにもかかわらず、異なるパーシステンス プロファイルを持ち、同じプールにある複数の仮想サーバを設定することができる  
システムでは、異なる LbVirtualServer で同じプールにある場合に、競合しているパーシステンス タイプの設定をサポートしません。しかし、ポリシーでは、競合する入力を適切に検証/拒否できず、設定が許可されてしまいます。この結果、ポリシーではエラー メッセージとともにアラームが表示されます。
- **解決した問題 2289984**：nsx-context-mux サービスをホストで停止したあとも、mux\_connectivity\_status に CONNECTED と表示される  
nsx-context-mux または nsx-opsagent がホストで実行されていない場合、システム (NSX インターフェイスまたはサービス インスタンス API) では、時刻が正しく反映されないタイムスタンプとともに、ソリューションの状態および GI エージェントの状態が実行中と誤って表示されます。この結果、ゲスト仮想マシンはウイルス対策保護を失うことがあります。
- **解決した問題 2290083**：VLAN ベース セグメントの作成時に検証が見つからない  
VLAN ID プロパティを持つ VLAN トランスポート ゾーンを指定する際に、システムは検証およびエラーの特定に失敗します。この結果、認識中にインテントが失敗し、エラーが発生します。
- **解決した問題 2290669**：仮想サーバの数が増えるにつれて、それぞれの設定にかかる時間が増える  
仮想サーバの数が増えると、それに従って検証の件数が増え、それぞれの設定にかかる時間が増大します。最初の 100 台については、平均応答時間は 1 秒前後です。250 台目以降は、平均応答時間が 5 ～ 10 秒になります。450 台以降は、応答時間が約 30 秒にまで増大します。
- **解決した問題 2291625**：アップグレード プランが同期されると、PCG アップグレードの状態が SUCCESS から NOT\_STARTED に変更される  
この問題は、PCG をアップグレードしてから、その後さらにエージェント/PCG をアップグレードする際に発生します。  
推奨されるワークフローでは、PCG のアップグレード後は、UC インターフェイスを介してクロスクラウド コンポーネントはアップグレードしません。  
  
これによる機能面への影響はありません。以前正常に完了した PCG アップグレードの状態がアップグレード ユーザー インターフェイス上で「なし」と表示される
- **解決した問題 2291872**：TFTP サービスがファイアウォール ルールで使用されている場合、ログメッセージに警告メッセージが表示される  
TFTP サービスが ESXi ノードのファイアウォール rule.Log の場所で使用されている場合、ログメッセージに無関係な警告メッセージが表示されます。/var/log/cfgAgent.log.
- **解決した問題 2292096**：CLI コマンド「get service router config route-maps」が空の出力を返す  
CLI コマンド「get service router config route-maps」は、ルートマップが設定されている場合でも、空の出力を返します。これは表示のみの問題です。
- **解決した問題 2292526**：ホストを追加する際に「ホストにアクセスできません」というメッセージが表示される  
ESXi ホストを追加する際に、「ホストにアクセスできません」というメッセージが表示されますが、原因は特定されません。正しくない認証情報が原因と考えられます。

- 解決した問題 2292701：割り当てマップでシーケンス番号を更新できない  
シーケンス番号を更新して、エンティティに適用されるプロファイルの順序や優先順位を変えることができません。
- 解決した問題 2293227：2.4 にアップグレードすると、VMware Tools 10.3.5 を実行する仮想マシンに IDFW ルールが適用されない  
NSX-T ライブ アップグレードを実行すると、VMware Tools 10.3.5 を実行する仮想マシンに IDFW ルールが適用されません。これにより、この仮想マシンのウイルス対策保護が失われる可能性があります。
- 解決した問題 2994002：DNS フォワーダ作成で選択する Tier-0/Tier-1 ゲートウェイ ドロップダウン リストで Tier-1 が表示されない  
レコード数が数千ある大規模展開では、DNS フォワーダ作成ワークフローで選択する Tier-0/Tier-1 ゲートウェイ ドロップダウン リストに Tier-1 が表示されません。この結果、DNS フォワーダ作成を構成するには、API を使用する必要があります。
- 解決した問題 2294345：ESXi ホストの仮想マシンおよび KVM ホストの仮想マシンが両方混在するグループでアプリケーション検出分類を実行すると失敗することがある  
アプリケーション検出機能は、ESXi ハイパーバイザーでのみサポートされます。サポート対象外のホストが含まれる混在ホスト上に仮想マシンのグループがある場合、アプリケーション検出分類の結果は正しいとは限りません。
- 解決した問題 2294821：NSX アプライアンスの情報がクラスタ監視ダッシュボードでエラー「ノードを削除できません」とともに表示され、この状況の対処方法も表示されない  
この問題は、自動展開されたノードをユーザーがインターフェイスから削除し、そのノードのパワーオフに失敗した後に確認されています。クラスタでノードが失われた場合、新しいノードを手動で追加し、以下の回避策を実行して構成の状態をクリーンアップする必要があります。
- 解決した問題 2281095：SVM が展開されているホストが同じクラスタに再度追加されると、EAM からコールバックがトリガされない  
すべてのゲスト仮想マシンの保護が解除されている可能性があります。NSX のユーザー インターフェイスが進行中状態のまま変わらなくなります。
- 解決した問題 2295564：2.3 から 2.4 にアップデートすると、Edge ノード コントローラの接続がダウンすることがある  
これは、断続的に発生し、一部の North-South トラフィックに影響を与える問題です。
- 解決した問題 2296888：トランスポート ノード (TN)/トランスポート ノード プロファイル (TNP) の構成で、両方の「物理 NIC のみ移行」フラグを true に設定すると、インストール用の VMK マッピングをホスト スイッチ全体で更新できない  
CREATE の実行時に、構成の不一致（両方の「物理 NIC のみ移行」フラグを true に設定し、ホスト スイッチ全体でインストール用の VMK マッピングを更新する）が見つかると、次の例外が発生します。

```
VMK migration for host b17afc36-bbdc-491a-b944-21f73cf91585 failed with error
[com.vmware.nsx.management.switching.common.exceptions.SwitchingException: TransportNode
[TransportNode/b17afc36-bbdc-491a-b944-21f73cf91585] can not be updated or deleted while migrating ESX
vmk interface null to [null].](エラー コード: 9418)
```

更新中に構成の不一致が見つかると、次の例外が発生します。  
一般的な（エラー コード: 400）

両方の「物理 NIC のみ移行」フラグが true に設定され、VMK 移行マッピングが含まれている TN/TNP 構成を適用すると、例外が発生します。

- 解決した問題 2287124：Microsoft Azure VNet に PCG を展開した後、CSM の VNet のタイルに誤って警告が表示される

Microsoft Azure VNet に PCG を展開した後、CSM で警告サイン（感嘆符付きの黄色の三角形）が表示されます。警告アイコンの上にカーソルを置くと、MP（管理プレーン）と CCP（制御プレーン）の状態が不明と表示されます。ただし、接続に問題がなくても警告が表示される場合があります。

- **解決した問題 2273651**：トランスポート ノードの削除後、ユーザーがホストに SSH 接続できない  
この問題は、KVM の実装で確認されています。ユーザーがトランスポート ノードを削除し、削除の成功を知らせるメッセージを受け取りますが、その後、ユーザーは SSH 経由で同じホストにアクセスできなくなります。この問題は、NSX-T で管理されていない Open Virtual Switch (OVS) が存在し、このスイッチが KVM テンプレートの一部として事前にインストールされているために発生する可能性があります。
- **解決した問題 2297157**：ロード バランシングの HTTPS パフォーマンスが FIPS モードの影響を受ける  
デフォルトの FIPS モードが有効になっていると、ロード バランシングのパフォーマンスに悪影響を与える可能性があります。
- **解決した問題 2290688**：AWS で Windows 2016 仮想マシンのアップグレードに失敗する  
AWS で、複数の Windows ワークロード仮想マシンのアップグレードが失敗します。AWS ポータルで、仮想マシンのアップグレード 状態が「1/2 Check」と表示されます。再試行も失敗します。この問題は、同じバージョンの NSX-T のアップグレードでのみ発生します。
- **解決した問題 2203863**：UDP および ICMP トラフィックで Identity Firewall ルールが機能しない  
Identity Firewall ルールが ping テストで機能しません。現在の機能は、TCP トラフィックでのみ使用できます。
- **解決した問題 2248186**：BGP ルーターが、独自のインターフェイスを持つネイバーからネクストホップとして IPv6 ルートをインストールする  
その結果、インストールされたルートの IPv6 転送が失敗し、転送ループが発生することがあります。
- **解決した問題 2281537**：移行後、マルチ VTEP の ESXi トランスポート ノードが BFD セッションを開始できない  
NSX-V ノードを NSX-T に移行した後、マルチ VTEP の ESXi トランスポート ノードが、Edge ノードのすべての VTEP で BFD セッションを開始できません。
- **解決した問題 2297918**：2.3.1 から 2.4 へのアップグレード後、クラスタから NSX を削除できない  
クラスタを 2.3.1 から 2.4 にアップグレードした後に NSX-T の削除に失敗し、次のメッセージが表示されます。「クラスタ上の NSX の削除に失敗：このファブリック テンプレートに関連するトランスポート ノード テンプレートまたはトランスポート ノードのコレクションがあります。このファブリック テンプレートを削除/無効にする前に、トランスポート ノード テンプレートまたはトランスポート ノードのコレクションを削除する必要があります」
- **解決した問題 2298499**：ゲートウェイがパブリック IP アドレスで展開されていない場合、Public Cloud Gateway とピア ホストの間で VPN が失敗する  
Public Cloud Gateway (PCG) がパブリック IP アドレスなしでアップリンクに展開されている場合、PCG とピア ホスト間で VPN トンネルを確立できません。PCG は、デフォルトで VPN トラフィックに SNAT を実行しているためです。
- **解決した問題 2316831**：ECMP が無効になっている場合でも、IPv6 トラフィックが常に共有される  
ポリシーから ECMP を無効にしても、IPv6 ユニキャスト アドレス ファミリーに適用されません。IPv4 ユニキャスト アドレス ファミリーには適用されます。
- **解決した問題 2334515**：T0-T1 ルーター リンク ポートで、IPv4 リンク ローカル範囲 (169.254.0.0/16) を使用できない

T0-T1 ルーター リンク ポートで、IPv4 リンク ローカル範囲 (169.254.0.0/16) を使用できません。IPv4 リンク ローカル アドレス範囲 (169.254.0.0/16) ではない IP アドレス範囲は、T0-T1 ルーター リンクで使用できます。

- 解決した問題 2339832：ノード証明書を適用できないか、CA 署名付き証明書を使用してクラスタ証明書を設定できない  
「証明書の使用量を更新中にエラーが発生しました」または「クラスタ証明書の設定でエラーが発生しました」というメッセージが表示されます。  
この問題は、証明書の適用を繰り返し行い、ノード証明書とクラスタ証明書の交換を行った後で発生する可能性があります。この問題が発生すると、証明書が正しく適用されません。VIP 経由で REST API 呼び出しが機能しなくなる可能性があります。ログの場所：/var/log/proton/nsxapi.log

このエラーが 2.4.1 へのアップグレード前に発生した場合は、自己署名証明書を使用してください。

## 既知の問題

既知の問題には次の項目が含まれます。

- [一般的な既知の問題](#)
- [インストールに関する既知の問題](#)
- [NSX Manager に関する既知の問題](#)
- [NSX Edge に関する既知の問題](#)
- [論理ネットワークに関する既知の問題](#)
- [セキュリティ サービスに関する既知の問題](#)
- [ロード バランサに関する既知の問題](#)
- [ソリューションの相互運用性に関する既知の問題](#)
- [運用および監視サービスに関する既知の問題](#)
- [アップグレードに関する既知の問題](#)
- [API に関する既知の問題](#)
- [NSX Cloud に関する既知の問題](#)

### 一般的な既知の問題

- 問題 2239365：「承認されていない」というエラーが表示される  
ユーザーが種類の同じブラウザで認証セッションを複数開こうとすると、このエラーが発生することがあります。このエラーが発生すると、ログインに失敗して認証できません。ログの場所：/var/log/proxy/reverse-proxy.log /var/log/syslog

回避策：認証のウィンドウやタブをすべて閉じてから、認証をもう一度やり直してください。

- 問題 2252487：複数のトランスポート ノードが並行して追加されると、BM エッジ トランスポート ノードのトランスポート ノードの状態が保存されない  
管理プレーンのユーザー インターフェイスで、トランスポート ノードの状態が正しく表示されません。

回避策：

1. Proton を再起動すると、トランスポート ノードの状態がすべて正常に更新されます。
  2. このほか、API (<https://<nsx-manager>/api/v1/transport-nodes/<node-id>/status?source=realtime>) を使用してトランスポート ノードの状態を照会することもできます。
- 問題 2256709：vMotion の実行中に、インスタント クローン仮想マシン（スナップショットから復元した仮想マシン）で一時的に AV 保護が失われる  
スナップショットから仮想マシンを復元し、その仮想マシンを別のホストに移行した際に発生します。移行後のインスタント クローン仮想マシンについて、パートナー コンソールに AV 保護の情報が表示されません。AV 保護が一時的に失われます。

回避策：なし。

- 問題 2261431：他の展開のパラメータによっては、フィルタ適用後のデータストア一覧が必要になる  
選択したオプションが正しくない場合には、それに応じたエラーがユーザー インターフェイスに表示されます。エラーが発生した展開を削除して新しい展開を作成すると、エラーが表示されなくなります。

回避策：クラスタ化された展開を作成する場合には、共有データストアを選択してください。

- 問題 2274988：サービス チェーンで同じサービスの連続するサービス プロファイルがサポートされない  
サービス チェーンに同じサービスに属するサービス プロファイルが 2 つ連続して存在していると、トラフィックはサービス チェーンを経由しないため、トラフィックがドロップします。

回避策：所属するサービスが同じサービス プロファイルが 2 つ連続しないように、別のサービスのサービス プロファイルを追加してください。このほか、連続する元の 2 つと同じ処理を実行する第 3 のサービス プロファイルを定義して、サービス チェーンでそのプロファイルを単独で使用方法も有効です。

- 問題 2275285：ノードがクラスタに参加するための要求を実行した場合に、その要求が完了してクラスタが安定するよりも前に、同じクラスタを対象とする 2 回目の参加要求が実行される  
クラスタが正しく機能しなくなり、CLI コマンド (get cluster status または get cluster config) を実行したときにエラーが返されることがあります。

回避策：最初に参加要求を出してから 10 分間は、同じクラスタに参加するための join コマンドを新たに実行しないようにしてください。

- 問題 2275388：ルートを拒否するフィルタが追加される前に、ループバック インターフェイス/接続済みインターフェイスのルートが再配分されることがある  
不要なルート更新により、トラフィックの分散に数秒から数分程度かかるようになることがあります。

回避策：なし。

- 問題 2275708：プライベート キーにパスフレーズが設定されていると、証明書と一緒にプライベート キーをインポートできない  
返されるメッセージは「証明書の無効な PEM データを受け取りました。(エラー コード: 2002)」です。新しい証明書とプライベート キーと一緒にインポートすることができません。

回避策：

1. 証明書とプライベート キーを作成します。新しいパスフレーズの設定を求めるメッセージが表示されたら、パスフレーズを入力せずに Enter キーを押してください。
2. [証明書をインポート] を選択して、証明書ファイルとプライベート キーファイルを選択します。確認のため、キーファイルを開きます。キーの生成時にパスフレーズを入力していると、ファイルの 2 行目に「Proc-Type: 4,ENCRYPTED」のような文言があります。

キーファイルの生成時にパスフレーズを指定しなかった場合には、この行がありません。

- 問題 2277742：NSX-T Manager アプライアンスにホスト名ではなく完全修飾ドメイン名 (FQDN) が設定されていると、要求の本文で publish\_fqdns を true に設定した PUT [https://<MGR\\_IP>/api/v1/configs/management](https://<MGR_IP>/api/v1/configs/management) が失敗することがある  
FQDN が設定されている状態では、PUT [https://<MGR\\_IP>/api/v1/configs/management](https://<MGR_IP>/api/v1/configs/management) を呼び出すことはできません。

回避策：NSX Manager の展開にあたっては、FQDN ではなくホスト名を使用してください。

- 問題 2279249：vMotion の実行中に、インスタント クローン仮想マシンで一時的に AV 保護が失われる



この問題は、インスタント クローン仮想マシンをあるホストから別のホストに移行すると発生します。移行直後に EICAR ファイルが仮想マシンに残された状態になります。そのため、AV 保護が一時的に失われます。

回避策：なし。

- **問題 2292116**：IPFIX L2 の画面でグループを作成するときに、IPFIX L2 の [適用先] に CIDR ベースの IP アドレス グループが一覧表示されない  
[適用先] ダイアログから IP アドレスのグループを作成し、[メンバーの設定] ダイアログ ボックスで正しくない IP アドレスまたは CIDR を入力すると、このメンバーはグループに表示されません。再度グループを編集し、正しい IP アドレスを入力する必要があります。

回避策：グループの表示画面に移動し、このグループに IP アドレスを追加します。これで、[適用先] ダイアログでグループが入力されます。

- **問題 1957072**：ブリッジ ノードのアップリンク プロファイルでは、複数のアップリンクに対して常に LAG を使用する必要がある  
LAG（リンク アグリゲーション グループ）を設定していない複数のアップリンクを使用すると、トラフィックのロード バランシングが行われず、正常に動作しない場合があります。

回避策：ブリッジ ノード上の複数のアップリンクには、LAG を使用します。

- **問題 1970750**：高速タイマーの LACP を使用したトランスポート ノード N-VDS プロファイルが vSphere ESXi ホストに適用されない  
高速タイマーの LACP アップリンク プロファイルを NSX Manager 上の vSphere ESXi トランスポート ノードに適用すると、NSX Manager にはプロファイルが正しく適用されたと表示されますが、vSphere ESXi ホストではデフォルトの LACP 低速タイマーが使用されています。vSphere のハイパーバイザーでは、LACP NSX が管理する分散スイッチ (N-VDS) プロファイルが NSX Manager のトランスポート ノードで使用されていても、lacp-timeout 値 (SLOW/FAST) の結果を確認できません。

回避策：なし。

- **問題 2268406**：追加されたタグが最大数に達すると、[タグ アンカー] ダイアログ ボックスに一部のタグが表示されない  
追加したタグが最大数に達すると、[タグ アンカー] ダイアログ ボックスに一部のタグが表示されず、ダイアログ ボックスのサイズ変更やスクロールができなくなります。[サマリ] 画面にはすべてのタグが表示されます。失われたデータはありません。

回避策：代わりに、[サマリ] 画面でタグを確認します。

- **問題 2310650**：インターフェイスに「要求がタイムアウトしました」というエラー メッセージが表示される  
インターフェイスの複数ページに次のメッセージが表示されます。「要求がタイムアウトしました。システムの負荷が高いか、リソースが不足している可能性があります。」

回避策：SSH を使用して NSX Manager 仮想マシンにログインし、CLI で start search resync manager コマンドを実行します。

- **問題 2320529**：新しく追加されたデータストアにサードパーティの仮想マシンを追加した後に「サービス展開用のストレージにアクセスできません」というエラーが発生する  
クラスタ内のすべてのホストからストレージにアクセスできる場合でも、新しく追加されたデータストアにサードパーティの仮想マシンを追加した後に「サービス展開用のストレージにアクセスできません」というエラーが発生します。このエラー状態は最大 30 分間続きます。

回避策：30 分後に再試行します。あるいは、次の API 呼び出しを行い、データストアのキャッシュ エントリを更新します。

```
https://{NsxMgrIP}/api/v1/fabric/compute-collections/<CC Ext ID>/storage-resources?  
uniform_cluster_access=true&source=realtime
```

NsxMgrIP は、サービス展開 API が失敗した NSX Manager の IP アドレス、CC Ext ID は、展開が試行されているクラスタの NSX の ID です。

- **問題 2320855：[追加/確認] ボタンをクリックしないと、新しい仮想マシンにセキュリティ タグが作成されない**

インターフェイスの問題です。ユーザーが新しいセキュリティ タグをポリシー オブジェクトまたはインベントリに追加し、「タグ-範囲」ペア フィールドの横にある **追加/確認** ボタンをクリックせずに **保存** をクリックすると、新しいタグ ペアが作成されません。

回避策：**保存** をクリックする前に、**追加/確認** ボタンをクリックします。

- **問題 2328126：ベアメタルの問題：NSX アップリンク プロファイルで Linux OS のボンディング インターフェイスを使用するとエラーが返される**

Linux OS でボンディング インターフェイスを作成し、このインターフェイスを NSX アップリンク プロファイルで使用すると、「トランスポート ノードの作成に失敗する可能性があります」というエラー メッセージが表示されます。VMware が Linux OS のボンディングをサポートしていないため、この問題が発生します。VMware では、ベアメタル サーバのトランスポート ノードの Open vSwitch (OVS) ボンディングをサポートしています。

回避策：この問題が発生した場合は、ナレッジベースの記事 KB67835、[Bare Metal Server supports OVS bonding for Transport Node configuration in NSX-T](#)を参照してください。

- **問題 2334442：ユーザーが、管理者ユーザーの名前を変更した後に作成されたオブジェクトを編集または削除できない**

ユーザーが、管理者ユーザーの名前を変更した後に作成されたオブジェクトを編集または削除できません。管理者/監査者ユーザーの名前を変更できません。

回避策：service nsx-policy-manager restart コマンドを発行して、名前の変更後にポリシーを再起動します。

- **問題 2261818：eBGP ネイバーから学習したルートが同じネイバーにアドバタイズされる**  
bgp デバッグ ログを有効にすると、返信されるパケットとドロップされたパケットがエラー メッセージに表示されます。BGP プロセスは、追加の CPU リソースを使用して、ピアに送信された更新メッセージを破棄します。ルートとピアの数が非常に多い場合、ルートのコンバージェンスに影響する可能性があります。

回避策：なし。

## インストールに関する既知の問題

- **問題 1957059：unprep の実行時に VIB が存在するホストをクラスタに追加すると、ホストの unprep に失敗する**

クラスタにホストを追加する前に VIB が完全に削除されていないと、ホストの unprep 操作が失敗します。

回避策：ホストの VIB を完全に削除してからホストを再起動します。

## NSX Manager に関する既知の問題

- **問題 2282798：同時に多くの要求またはホストが NSX Manager への登録を試みると、ホストの登録に失敗することがある**

この問題により、ファブリック ノードが失敗状態になります。ファブリック ノードの状態 API の呼び出しで、「クライアントがハートビートに対してまだ応答していません」と表示されます。ホストの /etc/vmware/nsx-mpa/mpaconfig.json ファイルも空になります。

回避策：この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. リゾルバ オプションを使用します。
2. NSX から FN を削除します。
3. CLI コマンド `join management-plane` を使用して、FN を手動で再度追加します。

## NSX Edge に関する既知の問題

- **問題 2283559**：Edge で RIB に 65,000 以上のルート、FIB に 100,000 以上のルートがある場合、`/routing-table` および `/forwarding-table` 管理プレーン API がエラーを返す  
Edge で RIB に 65,000 以上のルート、FIB に 100,000 以上のルートがある場合、管理プレーンから Edge への要求に 10 秒以上かかり、この結果タイムアウトになります。これは読み取り専用 API であり、API/ユーザー インターフェイスを使用して、RIB の 65,000 以上のルートおよび FIB の 100,000 以上のルートをダウンロードする必要がある場合にのみ影響を受けます。

回避策：RIB/FIB を取得するには、2 つのオプションがあります。

- これらの API では、ネットワーク プレフィックスまたはルートのタイプに基づくフィルタリング オプションをサポートしています。これらのオプションを使用して、目的とするルートをダウンロードします。
- RIB/FIB テーブル全体が必要な場合は CLI でサポートします。これによるタイムアウトはありません。
- **問題 2204932**：BGP ピアリングを設定すると、HA フェイルオーバー リカバリが遅延することがある  
T0 Edge とピアリングしているルーターで Dynamic-BGP-Peering を設定し、Edge（アクティブ/スタンバイモード）でフェイルオーバー イベントが発生すると、BGP ネイバーシップの確立に 120 秒ほどかかる場合があります。

回避策：遅延を回避するため、特定の BGP ピアを構成します。

- **問題 2285650**：BGP ルート テーブルに不要なルートが追加される  
BGP 構成で Allowas-in オプションが有効になっていると、Edge ノードにアドバタイズされたルートが BGP ルート テーブルに戻され、インストールされます。これにより、メモリが過剰に使用され、余分なルーティング計算が発生します。超過ルートにより高いローカル プリファレンスが使用されている場合、この転送ループにより、一部のルーターのルート テーブルに冗長ルートが追加される可能性があります。

たとえば、ルート X がルーター D から開始し、ルーター A と B にアドバタイズされているとします。Allowas-in が有効になっているルーター C がルーター B とピアリングしている場合、ルーター C がルート X を学習し、ルート テーブルにインストールします。これにより、ルーター C にアドバタイズされるルート X のパスが 2 つになり、この問題が発生します。

回避策：転送ループを防ぐには、アドバタイズされるルートをブロックするように問題のあるルーター（またはそのピア）を設定します。

## 論理ネットワークに関する既知の問題

- **問題 2243415**：論理スイッチを管理ネットワークとして使用して EPP サービスを展開できない  
EPP 展開画面で、ネットワーク選択コントロールで論理スイッチが表示されません。論理スイッチを管理ネットワークとして記述して API を直接使用すると、次のエラーが表示されます。「サービス展開用に指定されたネットワークにアクセスできません」

回避策：ローカル、分散など、別のタイプのスイッチを使用して展開します。

- **問題 2288774**：タグが誤って 30 個を超えていることが原因で、セグメンテーション ポートで認識エラーが発生する

ユーザーの誤った入力により、30 個を超えるタグの適用を試行します。しかし、ポリシー ワークフローでは、ユーザーの入力を適切に検証/拒否しないため、設定が許可されてしまいます。そして、30 個を超えるタグは使用できないという内容の適切なエラー メッセージとともに、ポリシーにアラームが表示されます。この時点で、ユーザーは問題を解決できます。

回避策：エラー メッセージが表示されたら、設定を訂正します。

- **問題 2275412：複数のトランスポート ゾーン (TZ) でポート接続が機能しない**  
ポート接続は単一の TZ でのみ使用できます。

回避策：なし。

- **問題 2320147：影響を受けるホストに VTEP がない**  
同じトランザクションで LogSwitchStateMsg の削除と追加を行い、管理プレーンが論理スイッチを送信する前にこの操作が中央の制御プレーンによって処理されると、論理スイッチの状態は更新されません。このため、VTEP が見つからず、トラフィックを送受信できません。

回避策：この問題が発生した場合は、中央の制御プレーンを再起動します。

- **問題 2327904：アップリンクとして事前に作成した Linux ボンディング インターフェイスを使用した後、トラフィックが不安定になる、または処理に失敗する**  
NSX-T は、アップリンクとして事前に作成された Linux ボンディング インターフェイスをサポートしていません。

回避策：アップリンクの場合は、アップリンク プロファイルから OVS ネイティブのボンディング設定を使用します。

- **問題 2295819：Edge 仮想マシンがアクティブで、物理 NIC が稼働している場合でも、L2 ブリッジが「停止」状態になる**  
Edge 仮想マシンがアクティブで、L2 ブリッジ ポートをバックアップする物理 NIC が稼働している場合でも、L2 ブリッジが「停止」状態になることがあります。Edge LCP がローカル キャッシュに保存された物理 NIC 状態の更新に失敗すると、物理 NIC が停止していると見なされるため、この問題が発生します。

\*ユーザーへの影響\*：

Edge l2bridge ポートからアクセス可能な仮想マシンのトラフィックが停止します。

回避策：影響を受ける Edge 仮想マシンでローカル制御エージェントを再起動します。

- **問題 2392093：RPF チェックが原因でトラフィックがドロップする**  
Tier-0 と Tier-1 ルーターが同じ Edge ノードにあり、トラフィックで Tier-0 ダウンリンクを経由したヘアピン通信が発生すると、RPF チェックでトラフィックがドロップする場合があります。

回避策：なし。

## セキュリティ サービスに関する既知の問題

- **問題 2395334：(Windows) ステートレス ファイアウォール ルールの conntrack エントリが原因で、パケットが誤ってドロップされる**  
Windows 仮想マシンでは、ステートレス ファイアウォール ルールが完全にサポートされていません。

回避策：ステートフル ファイアウォール ルールを追加します。

- **問題 2458384：NSX-T Manager インターフェイスのページの読み込みに失敗し、403 エラーが発生する**  
これは、リリース バージョン 2.4.0 と 2.4.1 で発生します。この問題は、admin と Identity Manager の両方のログインに影響します。NSX-T Manager の FQDN は \*.SLD.TLD の形式です。次はその例です。\*.co.uk、\*.co.il、\*.com.au など。

回避策：FQDN ではなく、省略名または IP を使用して NSX-T Manager UI にアクセスします。[ナレッジベースの記事 KB71217](#) を参照してください。

- **問題 2296430**：NSX-T Manager API が証明書の生成中にサブジェクトの代替名を提供しない  
NSX-T Manager API が証明書の発行でサブジェクト代替名を提供しません。この問題は特に、CSR 生成中に発生します。

回避策：拡張機能をサポートする外部ツールを使用して CSR を作成します。認証局から署名付きの証明書を受信したら、CSR からのキーを使用して、この証明書を NSX-T Manager にインポートします。

- **問題 2294410**：L7 ファイアウォールで一部のアプリケーション ID が検出される  
SAP、SUNRPC、SVN の L7 アプリケーション ID はアプリケーションではなく、ポートに基づいて検出されます。次の L7 アプリケーション ID はサポートされていません。AD\_BKUP、SKIP、および AD\_NSP。

回避策：なし。これによるユーザーへの影響はありません。

- **問題 2314537**：vCenter Server の証明書とサムプリントが更新された後、接続状態が「停止」になる

vCenter Server と NSX の同期で新しい情報に更新されないため、vCenter Server からデータを取得するオンデマンド クエリがすべて失敗します。ユーザーは新しい Edge またはサービス仮想マシンを展開できません。ユーザーは、vCenter Server に追加する新しいクラスタまたはホストを準備できません。ログの場所：NSX Manager ノードの /var/log/cm-inventory/cm-inventory.log と /var/log/proton/nsxapi.log

回避策：各 NSX Manager 仮想マシンにログインして、root ユーザーに切り替えます。各 Manager ノードで /etc/init.d/cm-inventory restart コマンドを実行します。

## ロード バランサに関する既知の問題

- **問題 2290899**：IPsec VPN が動作せず、IPsec の制御プレーンの認識が失敗する  
同じ Edge ノードで Tier-0 の IPsec サービスと 62 台を超える LbServer が有効な場合、IPsec VPN（または L2VPN）の起動に失敗する

回避策：LbServer の数を 62 台以下に減らします。

- **問題 2318525**：IPv6 ルートのネクスト ホップに設定されている eBGP ピアの IP アドレスが送信側の IP アドレスに変更される  
eBGP IP4 セッションの場合、アドバタイズされる IPv4 ルートでネクスト ホップとして eBGP ピアが設定されている場合、このルートのネクスト ホップは送信者側の IP アドレスに変更されません。IPv4 の場合、これに起因する問題は発生しません。IPv6 セッションの場合、送信側でルートのネクスト ホップが自身の IP アドレスに変更されるため、ルートがループする場合があります。この動作によって、ルートのループが発生する可能性があります。

回避策：なし。

- **問題 2362688**：ロード バランサ サービスで一部のプール メンバーが停止しているときに、ユーザー インターフェイスで統合の状態が「稼動中」と表示される  
プール メンバーが停止しているときに、その状態がポリシー ユーザー インターフェイスに表示されません。プールの状態は緑で、「稼動中」と表示されます。

回避策：なし。

## ソリューションの相互運用性に関する既知の問題

- **問題 2289150**：AWS 開始の PCM 呼び出しに失敗する

CSM で AWS アカウントの PCG ロールを *old-pcg-role* から *new-pcg-role* に更新すると、CSM では、AWS の PCG インスタンスのロールを *new-pcg-role* に更新します。しかし、PCM では PCG のロールが更新されたことを認識していないため、この結果、引き続き *old-pcg-role* を使用して作成された、以前の AWS クライアントを使用します。これにより、PCM AWS クラウド インベントリ スキャンが発生し、他の AWS クラウドの呼び出しは失敗します。

回避策：この問題が発生した場合、新しいロールに変更してから 6.5 時間以上は、以前の PCG ロールを変更/削除しないでください。PCG を再起動すると、新しいロールの認証情報を使用してすべての AWS クライアントが再初期化されます。

## 運用および監視サービスに関する既知の問題

- **問題 2316943：vMotion でワークロードの保護が一時的に解除される**

vMotion 後、VMware Tools から仮想マシンの正しいコンピュータ名が報告されるまでに数秒かかります。vMotion 後の数秒間、コンピュータ名で NSGroups に追加された仮想マシンの保護が解除されます。

回避策：分散ファイアウォール ルールで使用するグループの場合、コンピュータ名ではなく、仮想マシン名をベースにした基準を使用します。

- **問題 2331683：詳細 UI の Add-Load-balancer フォームに、バージョン 2.4 の最新の容量が表示されない**

add-load-balancer フォームを開くと、詳細 UI に form-factor-capacity が表示されますが、バージョン 2.4 の最新情報が反映されていません。以前のバージョンの容量が表示されています。

回避策：なし。

## アップグレードに関する既知の問題

- **問題 2286030：NSX-T 2.3.x 以前から 2.4.x にアップグレードすると、トランスポート ノードの構成状態が「失敗」と表示される**

NSX-T 2.3.x 以前から 2.4.x にアップグレードすると、null ポインタ例外が発生し、トランスポート ノードの構成状態が「失敗」になります。vmkernel アダプタを含む ESXi トランスポート ノードを N-VDS VLAN 論理スイッチに移行して、NSX-T 2.3.x から NSX-T 2.4.x にアップグレードすると、競合条件が発生し、ESXi トランスポート ノードの構成状態が「失敗」と表示される場合があります。ただし、ノードの構成状態が「失敗」と表示された後でも、アップグレード中は NSX Manager およびコントローラと ESXi トランスポート ノードとの接続が維持されます。

回避策：トランスポート ノードを更新または再送信して、構成状態を「成功」にリセットします。

1. NSX Manager で、「失敗」と表示されている ESXi トランスポート ノードを編集します。

2. ESXi トランスポート ノードの構成ポップアップで、[保存] をクリックします。

この操作により、状態がリセットされます。構成を変更する必要はありません。

- **問題 2288549：RepoSync がマニフェスト ファイルでチェックサム エラーとともに失敗する**

この問題は、2.4 にアップグレードされたばかりの展開で確認されました。アップグレードした設定のバックアップを実行し、新しく展開したマネージャにリストアした場合、データベースにあるリポジトリ マニフェスト チェックサムと実際のマニフェスト ファイルのチェックサムが一致しません。これにより、バックアップのリストア後に RepoSync が失敗とマークされます。

回避策：この問題を回避するには、次の手順を実行します。

1. CLI コマンド `get service install-upgrade` を実行します。

結果で「Enabled on」の IP アドレスをメモしておきます。

2. 上記のコマンドで返った「Enabled on」に表示されている NSX Manager の IP アドレスにログインします。

3. [システム] > [概要] の順に移動し、戻りが「Enabled on」と同じ IP アドレスを持つノードを探します。

4. このノードで [解決] をクリックします。

5. 上記の解決処理が正常に実行されたら、同じインターフェイスのすべてのノードで[解決]をクリックします。

3 台のノードすべてで、RepoSync の状態が[完了]と表示されます。

- 問題 2277543：インプレース アップグレードの実行中に、ホストへのオフライン バンドルのインストールでエラーが発生し、ホスト VIB の更新に失敗する

NSX-T 2.3.x から 2.4 にインプレース アップグレードを行う前のホストと ESXi-6.5P03 (ビルド 10884925) を実行しているホストで Storage vMotion を実行すると、このエラーが発生する場合があります。ホストのアップグレード直前に Storage vMotion を実行すると、2.3.x のスイッチ セキュリティ モジュールが削除されません。Storage vMotion によってメモリ リークが発生し、スイッチ セキュリティ モジュールのアンロードに失敗します。

回避策：ナレッジベースの記事 KB67444、[Host VIB update may fail when upgrading from NSX-T 2.3.x to NSX-T 2.4.0 if VMs are storage vMotioned before host upgrade](#) を参照してください。

- 問題 2276398：NSX を使用して AV パートナー サービス仮想マシンをアップグレードすると、最大で 20 分ほど、保護されていない状態が継続する

パートナー サービス仮想マシンをアップグレードすると、新しいサービス仮想マシンがデプロイされ、古いサービス仮想マシンが削除されます。ホストの Syslog に SolutionHandler の接続エラーが記録されることがあります。

回避策：アップグレード後にホストの ARP キャッシュ エントリを削除し、ホストのパートナー制御 IP アドレスに ping を送信して、この問題を解決します。

- 問題 2330417：アップグレードされていないトランスポート ノードのアップグレードが実行できない

アップグレード時に、一部のトランスポート ノードがアップグレードされていない場合でも、アップグレード成功とマークされます。ログの場所：/var/log/upgrade-coordinator/upgrade-coordinator.log。

回避策：upgrade-coordinator サービスを再起動します。

## API に関する既知の問題

- 問題 2260435：デフォルトで API によって作成されたステートレス リダイレクト ポリシーまたはルールが East-West 接続でサポートされない

デフォルトで API によって作成されたステートレス リダイレクト ポリシーまたはルールが East-West 接続でサポートされません。このため、トラフィックがパートナーにリダイレクトされません。

回避策：ポリシー API を使用してリダイレクト ポリシーを作成する場合は、ステートフル セクションを作成します。

- 問題 2332397：API を使用すると、存在しないドメインでも分散ファイアウォール ポリシーが作成される

このようなポリシーを存在しないドメインに作成した後、分散ファイアウォールの [セキュリティ] タブを開くと、インターフェイスが応答なくなります。関連するログは /var/log/policy/policy.log です。

回避策：ポリシーの作成と同じ ID でドメインを作成します。これにより、検証が成功するようになります。

## NSX Cloud に関する既知の問題

- 問題 2275232：分散ファイアウォールの Connectivity\_statregy が BLACKLIST から WHITELIST に変更されると、クラウドの仮想マシンで DHCP が動作しなくなる

新しい DHCP リースを要求する仮想マシンはすべて、IP アドレスを失います。分散ファイアウォール (DFW) でクラウド仮想マシンの DHCP を明示的に許可する必要があります。

回避策：DFW でクラウド仮想マシンの DHCP を明示的に許可します。

- 問題 2277814：仮想マシンが nsx.network タグの無効な値で vm-overlay-sg に移動する

nsx.network タグでタグ付けされた仮想マシンが、vm-overlay-sg に移動します。

回避策：無効なタグを削除します。